

事務事業評価シート (評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	ごみ収集事業				②事業番号	3301		
③事業類型	1. 法上(必須)事業			④開始年度	昭和	年度	⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等	<input type="radio"/> 法令	<input type="radio"/> 条例	<input type="radio"/> 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例	
⑦実施手法	直営	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード	款	4	項	2	目	2	細目	
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	清掃課			
							会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

[1] 事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
② ふれあい収集利用者	② 利用者	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬を行う。 ・可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、資源ごみ、ふれあい収集業務(独居高齢者及び障害者の見守りを含む戸別収集) ・事務業務(収集量の集計、収集補助業務委託、廃棄物保管場所協議、収集日程カレンダー作成等) ・市指定袋作成業務	① 収集量	t
	② 資源ごみ収集量	t
	③ 有料(可燃、不燃、粗大)収集量	t
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
分別排出されたごみを適正に収集する事により、生活環境及び公衆衛生の向上を図る。	① 一人一日のごみ排出量	g
	計算式: 収集量 ÷ 人口 ÷ 365日 × 1000000	
	② 一世帯当たりの収集量	kg
	計算式: 収集量 ÷ 世帯 × 1000	
	③ 資源化率	%
	計算式: 資源ごみ収集量 ÷ 収集量 × 100	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
廃棄物の減量化及び再資源化の推進。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします
	施策中	1 資源・エネルギー有効利用の推進
	施策小	2 再資源化の推進

[2] 各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標① 人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標② 利用者	人	64	67	70	68	68	
活動指標① 収集量	t	11,393	11,398	10,813	10,541	10,410	
活動指標② 資源ごみ収集量	t	1,931	1,965	1,782	1,696	1,669	—
活動指標③ 有料(可燃、不燃、粗大)収集量	t	9,462	9,433	9,031	8,847	8,743	
成果指標① 一人一日のごみ排出量	g	504	508	487	479	477	
成果指標② 一世帯当たりの収集量	kg	435	433	409	397	390	—
成果指標③ 資源化率	%	17	17	16	16	16	
事業費							
投入人員	人	12.95	13.30	13.30	13.30		
正職員	人	12.95	13.30	13.30	13.30		
任期付職員	人	3.70	9.00	9.00	9.00		
臨時職員	人	2.25	1.60	1.40	1.40		
事業費	千円	120,866	135,910	131,118	131,118		
人件費(投入人員 * 単価)	千円	120,866	135,910	131,118	131,118		
直接事業費	千円	125,854	126,595	131,871	130,818		
総事業費	千円	246,720	262,505	262,989	261,936		
財源内訳							—
国庫支出金	千円	0	0	0	0		
府支出金	千円	0	0	0	0		
受益者負担金	千円	0	0	0	0		
その他特定財源	千円	35,412	35,999	33,217	36,078		
一般財源	千円	211,308	226,506	229,772	225,858		

[3] 事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	昭和61年4月に泉南清掃事務組合から、ごみ収集を泉南市、阪南市に移管されたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	最終処分場のひっ迫など廃棄物処理をめぐる現状は厳しいものであるため、今後も3Rを推進し、廃棄物の減量に努める。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	収集コース及び収集方法等の検討を行った。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	ごみの分別区分、収集回数、ごみ収集有料化(市民が負担する収集運搬手数料)は近隣市町村とほぼ同程度。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	市民の協力により、ごみの分別が促進され、排出されたごみを適正に収集する事ができている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある アイ. ない	市民に分別の仕方や食品ロス、プラスチックごみ問題など周知方法を工夫することで、可燃ごみ排出量の削減と資源化率の向上を図る。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	職員の退職や移動で職員数は減少しているが、収集補助業務をNPO法人に委託することで人件費等を削減している。
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	現収集体制を維持し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 	ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 ↓ ↓ ↓ (___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	コース検討委員会を立ち上げ、効率的かつ安全な作業を検討し、収集ルートのマニユアル化を作成し、R5年度に実施。	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—	